

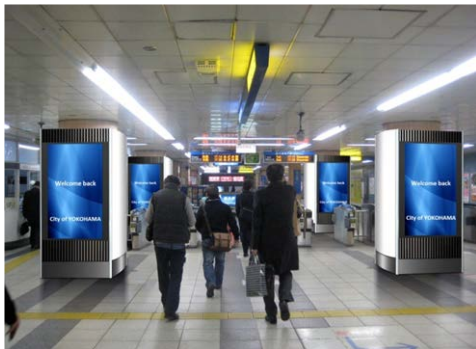
市営交通広告のデジタル化への取組について

交通広告において、中吊り広告をはじめとした紙メディアが減少傾向にあるなか、車内や駅のデジタルサイネージは堅調に伸長しています。交通局では、地下鉄グリーンライン車内にビジョン広告を設置していますが、広告主からの高まる需要に応えるため、地下鉄・バス広告のデジタル化を進めていますので、取組み状況を報告します。

1 地下鉄横浜駅へのデジタルサイネージ設置

公募により事業者（株NKBY's）を決定し、28年10月から横浜駅JR・相鉄連絡改札口周辺（柱4本各2面・デジタルサイネージ計8面）において、事業を開始する予定です。

事業効果として、幅広く新規広告主の獲得が期待できるほか、駅のブランドイメージや美観の向上にもつながると考えています。



※設置イメージ

2 バス車内へのデジタルサイネージ設置

公募により事業者（株アドベル）を決定し、27年10月から浅間町・滝頭の2営業所で事業を開始しました。28年度はエリアを拡大し、全6営業所で実施予定です。

事業効果として、バス広告のイメージや注目度の向上に加え、ニュースや天気予報の放映によるお客様サービスにもつながっています。

【営業所別設置状況】

事業開始時期	実施営業所	設置台数	累計
27年10月	浅間町・滝頭	各30台・計60台	60台
28年5月	保土ヶ谷・港北	各30台・計60台	120台
28年11月（予定）	本牧・緑	各30台・計60台	180台

